大阪市立
義務教育学校生野未来学園

校長名	岡　真由美
所在地	〒544-0024 大阪市生野区生野西3−5−40
電話番号	06−6716−0121（前期課程） 06−6716−3377（後期課程）
FAX番号	06−6716−2153
HPアドレス	https://swa.city-osaka.ed.jp/weblog/data/j672489/

QRコード

主な学校行事

	【共通】(1 ～ 9年)	【前期課程】	【後期課程】
4月	対面式　家庭訪問	入学式(1年)	
5月		運動会(1~5年) 遠足　学習参観(1~5年)	二泊移住(7年) 修学旅行(9年)
6月	地区別班編成　プール開き	芸術鑑賞(1～5年) 社会見学	職場体験(8年) 学習参観(6~9年)
7月	たてわり班活動　期末懇談	林間学習(5年)	高校留学体験(9年)
8月			
9月	文化発表会		
10月		遠足・社会見学	体育大会(6～9年)
11月	たてわり班活動	学習参観(1~5年) 就学時健康診断(新1年)	お店バトル(7年)
12月	期末懇談　地域合同防災訓練		芸術鑑賞(6～9年)
1月		入学説明会(新1年)	百人一首大会(7年) 校外学習(7・8年)
2月		学習参観(1～5年)	百人一首大会(8年) 合唱コンクール(6~8年)
3月	送る会	修了証書授与式(6年)	卒業式(9年)

標準服

前期課程

後期課程

教育目標

「集団の中で自分の良さを伸ばしていける子を育てる」

豊かな心と健全な身体を育む。基礎的基本的な学力の充実と、基本的な生活習慣の確立を通じて、主体的に学習に取り組み、自律し、協力しあう子を育てる。(自学・自律・思いやり)

重点目標

【学力の向上】【道徳心・社会性の育成】【健康・体力の保持増進】

校訓

「はばたく子 つながる子 切り開く子」

- 自分・学校・まちに誇りを持ち未来にはばたく子
- 思いを伝えあい、助け合い社会とつながる子
- 自ら課題を持ち、あきらめずにチャレンジ未来を切り開く子

令和6年度全国学力・学習状況調査（前期課程）

平均正答率（%）

国語	算数
60	50

結果概要

国語：全国の平均正答率は67.7%、大阪市は66%、本校は60%であった。
算数：全国の平均正答率は63.4%、大阪市は62%、本校は50%であった。

自校の取り組みの成果と課題、アクションプラン

後期課程教員による高学年への一部教科担任制の導入、習熟度別少人数学習、T・T(ティーム・ティーチング)等を実施しているが、今後も専門的な指導による学力の向上や指導方法の工夫による学習意欲の向上に取り組む。また、学力向上支援チーム事業スクールアドバイザーによる教員の指導力向上に取り組み、日々の授業の充実と授業改善を進める。ブロック予算や区役所事業の活用により、3年生以上で英検Jrや漢字検定等の検定試験にチャレンジし、学習意欲を向上させたい。さらに、9年間を通してのキャリア教育（IKUNO未来科）を進め、生野のまちに誇りをもって社会に羽ばたいていく子どもを育てるべく教育課程を創造していく。

令和6年度全国学力・学習状況調査（後期課程）

平均正答率（%）

国語	数学
50	36

結果概要

国語：全国の平均正答率は58.1%、大阪市は56%、本校は50%であった。
数学：全国の平均正答率は52.5%、大阪市は51%、本校は36%であった。

自校の取り組みの成果と課題、アクションプラン

- 授業規律は確保できており、落ち着いた環境で授業に取り組むことができている。スクールアドバイザー等からの専門的な指導や全校職員による相互授業参観・研究協議を随時行うなど能動的な研修をとおして、魅力ある授業づくりを行っている。また、放課後学習会を定期的に実施しており、疑問点の解消や既習事項の定着等に役立てられている。
- 自己有用感の育成を目指し、これまでも肯定的な声掛け等の行動支援を行ってきたが、本年度は全体研修を行い、方法を工夫しながらさらに推進している。

令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査（前期課程）

種目別平均値

性別	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (回)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ソフトボール投げ (m)	合計得点
男子	15.91	15.69	39.29	37.17	36.79	9.79	146.98	15.82	48.27
女子	15.63	16.79	40.92	35.85	31.17	10.09	136.35	11.21	51.39

結果概要

男子の結果は、長座体前屈で大阪市・全国平均よりも上回った。握力・上体起こし・反復横跳び・20mシャトルラン・50m走・立ち幅跳び・ソフトボールでは、大阪市・全国平均より下回った。体力合計点は大阪市・全国より下回った。

女子の結果は、長座体前屈で大阪市・全国平均よりも上回った。握力・上体起こし・反復横跳び・50m走・立ち幅跳び・ソフトボール投げで、大阪市・全国平均より下回った。体力合計点は大阪市・全国より下回った。

「運動やスポーツをすることは好きですか」についての肯定的回答は、男子で93.7%、女子で80.4%であった。男子では大阪市・全国より上回り、女子では大阪市・全国より下回った。「1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合」は、男子6.4%、女子26.8%であった。

自校の取り組みの成果と課題、アクションプラン

全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を受け、日常の体育の授業での運動時間の確保に努め、縄跳びタイムかけあしタイムなど体力づくりの取組みを充実させる。

令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査（後期課程）

種目別平均値

性別	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (回)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ハンドボール投げ (m)	合計得点
男子	24.31	23.68	41.57	51.22	72.61	8.44	173.75	18.57	40.53
女子	21.50	22.46	46.17	46.41	50.19	9.07	160.03	11.85	48.46

結果概要

男子の結果は、長座体前屈、立ち幅跳び、ハンドボール投げにおいて全国平均と同じか、やや上回った。また、体力合計点において、全国平均、大阪市平均よりやや下回った。

女子の結果は、上体起こし、反復横跳びにおいて全国平均・大阪市平均を上回った。また、体力合計点において、全国平均・大阪市平均よりも1ポイント以上上回った。

自校の取り組みの成果と課題、アクションプラン

保健体育科の授業や、体育的行事、運動部活動などをとおして、体力・運動能力の向上を図る。また、運動を継続的・習慣的に行うことの重要性について理解を深める。

卒業後の主な進路（後期課程のみ）

過去3年間の卒業者数

令和6年度　89　令和5年度　74　令和4年度　77

【大阪府下の府立高校】東住吉総合(11)、港(8)、今宮工科(7)、大阪わかば(勝山・桃谷)(7)、成城(7)、東住吉(6)、桃谷(通信制・定時制夜間)(5)、大阪府教育センター附属(4)、住吉(4)、西成(4)、花園(4)、阪南(4)、天王寺(3)、東淀川(3)、夕陽丘(3)、阿倍野(2)、清水谷(2)、布施工科(2)、八尾北(2)、生野、市岡、泉陽、長吉、福井、藤井寺、布施、布施北、三国丘、八尾

【大阪府下の旧大阪市立高校（現在は府立高校）】生野工業(4)、工芸(4)、住吉商業(3)、大阪ビジネスフロンティア(2)、桜宮(2)、第二工芸(2)、都島工業(2)、水都国際、汎愛、淀商業

【大阪府下の私立高校】興國(20)、あべの翔学(6)、大阪夕陽丘学園(6)、近畿大学附属(6)、上宮(4)、阪南大学(4)、大阪女学院(3)、東大阪大学敬愛(3)、プール学院(3)、金蘭会(2)、建国(2)、金光藤蔭(2)、明浄学院(2)、追手門学院大手前、大阪、大阪偕星学園、大阪学芸、大阪商業大学、大阪つくば開成、大阪桐蔭、大阪緑涼、香ヶ丘リベルテ、関西大学第一、好文学園女子、四條畷学園、四天王寺東、城南学園、精華、星翔、清風南海、長尾谷、浪速、箕面学園、YMCA学院、

【その他（他府県等）の高校】飯塚、帝京長岡、益田東、近大豊岡、蒼開、浜松修学舎、ルネサンス、青山、佐賀清和、熊本国府

「特色ある学習活動」 および 「家庭・地域等との連携」

特色ある学習活動等　学校教育目標・めざす子ども像

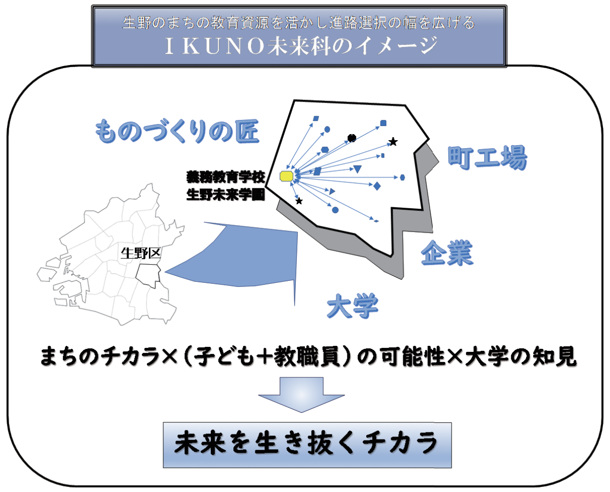
9年間で未来への夢を語れる子どもを育てる学校

- 一人一人が、将来に、なりたい自分やあこがれる自分をみつけ、自律して学習に取り組み、学ぶことの楽しさを実感できる学校
- 児童、教職員、地域・保護者がそれぞれ心通わせ、思いやり、親切にふれあい、信頼で結ばれる学校
- 安全で落ち着いた情緒やゆとりの感じられる学校。機能的に使い込まれ、よく手入れされている学校

特色ある学習活動等　IKUNO未来科

『IKUNO未来科』では、生野区にある企業や町工場等の地域の教育資源を有効活用して未来を生き抜くチカラを育てます。様々な地元企業・モノづくりの匠への聞き取りや商店街での起業体験、職場体験等の具体的な体験活動を充実させ、働く人と出会い、働く人の情熱に触れ、課題にチャレンジしていきます。また、『IKUNO未来科』の取組とともに各教科等で基礎的・汎用的能力※を育みながら、9年間を通して子どもたちのキャリアの育成に取組み、生野のまちに誇りをもって社会に羽ばたいていく子どもを育てます。

※　人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力



特色ある学習活動等　特色ある教育活動

集団づくりにおいては、子どもの自信とやる気を育て、「こんな自分になりたい」という願いを形にするため、ポジティブ行動支援（PBS）に取り組み、社会性や主体性を育みます。また、9学年が一緒に学校生活を送るメリットを生かし、異学年交流やたて割り活動ではピア・サポート活動を取り入れ、互いに信頼し支えあう心を育みます。

特色ある学習活動等　9年間を通して子どもを育てる　5−4制

9年間を貫く学習指導2つのステージに分け、子どもたちの発達段階に応じた教育活動や学校行事を行います。

一部教科担任制や小中の教員による乗り入れ授業など、一つの学校であるメリットを生かすと共に、習熟度別学習や少人数学習、T・T(ティーム・ティーチング)などの学習形態を工夫することで、子どもたち一人一人の9年間の学びを効率的につなぎます。また、教職員によるきめ細やかな連携により、子どもの理解を深め、子どもたちの健全で確実な成長と確かな学力の保証をめざします。

9年間をしなやかにつなぐ ステージ制

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年
ステージ	ファーストステージ					セカンドステージ			
教育課程	前期課程					(移行期間)	後期課程		
標準服	前期課程用					(移行期間)	後期課程用		

校長先生のメッセージ

義務教育学校生野未来学園は、林寺小学校、生野小学校、舎利寺小学校、西生野小学校、生野中学校が令和4年度に再編され、新しく生まれ変わった学校です。前期課程での子どもたちの成長と成果や課題を区切りなく後期課程へ引き継ぎ、教育活動を行っていけることに大きな可能性を感じています。「生野未来学園」という名前の通り、9年間で大きな「未来」を創造していけることに私たちはわくわくしています。

大阪市初の義務教育学校であり、これからの未来に大いなる可能性を含んだ学校です。小学校、中学校が一体となった教職員と児童生徒、そして保護者・地域の皆様と一緒に「愛される」「誇れる」学校にしていきます。

運営に関する計画

計画のエッセンス

大阪市全体の課題である学力の向上はもちろんのこと「教科横断的な視点をもった教育活動」「教育課程の編成」「地域と連携、教育に必要な人材、資源の発掘」に視点を於いたカリキュラム・マネジメントの確立が課題。この2点を中心に大阪市教育振興基本計画のもと取り組みを進める。

中期目標、年度目標等

【安全・安心な教育の推進】

- 学力経年調査及び校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童・生徒の割合を81%以上にする。
- 年度末の校内調査において、前年度の不登校児童・生徒の改善の割合を増加させる。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 学力経年調査及び校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童・生徒の割合を 35%以上にする。
- 小学校学力経年調査及び中学生チャレンジテストにおける国語および算数・数学の平均正答率の対全国比・対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を77%以上にする。《前期課程》
- 大阪市英語力調査におけるCEFR　A1レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合（4技能）を35%以上にする。《後期課程》
- 学力経年調査及び校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を60%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において、児童生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の80%以上にする。
- 年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を80%以上にする。